

ガストーチバーナーによる火災にご注意ください

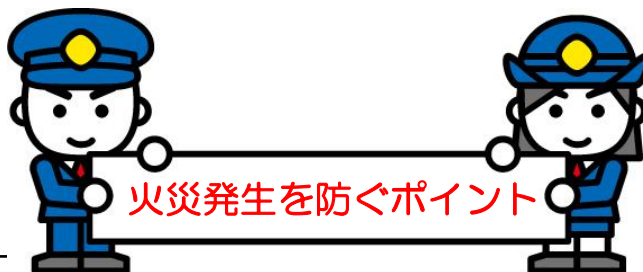
ガストーチバーナーは、バーベキューの火おこしや炙り料理などで愛用されている方も多いと思います。そんな便利な道具も使用方法を誤ったり、製品の劣化等によって火災等の重大な事故に繋がった事例が全国的に増加傾向にあります。

実際に、当本部管内でも発生しておりますので、火災発生を防ぐポイントをお伝えいたします。



当本部管内の火災事例

製品の初期不良又は経年劣化により、内部のゴムに異常があり、使用時にガスが漏れたことにより、引火し火災が発生しました。写真は、実際にその時使用していたものです。



☆取扱説明書をよく読む

メーカーによって、点火や消火等の使用方法が異なるため、取扱説明書をよく読み誤った使い方はしないようにしましょう。また、海外輸入品の中には日本語表記がないものもあるので注意しましょう。

☆使用前及び使用後の点検

- ・内部のゴムが劣化等によりガス漏れが起きるため、切れやひび割れがないかを確認しましょう。
- ・ガスボンベとの接続がしっかりとされ、「緩み」や「がたつき」がないかを確認しましょう。
- ・ガスボンベと接続した際、ガスが漏れる音やガス臭がしないかを確認しましょう。
- ・完全に消火できているかを確認しましょう。

※ 使用中、ボンベを持つ手に冷気を感じたり、ガス臭を感じるなど異常を感じた場合は、使用を直ちに止め、メーカーに相談してください。

☆廉価品に注意する

廉価品の中には、製造責任を持つ社名や連絡先が明記されておらず、事故が起きた際の連絡や調査が困難なものもあります。また、粗雑な作りのものもありますので注意しましょう。

万一火災が起きてしまったら落ち着いて安全な屋外へ搬出するか、可燃物が無い場所に置き、消火器（粉末式のもの）で消火しましょう。

消火器が無い場合、水を張ったバケツ等に深く沈めることでも消すことができます。

